

令和5年11月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園

園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

朝晩はすっかり冷え込むようになり秋の深まりを感じる季節になりました。10月13日(金)は秋晴れの空の下、運動会を行うことができ本当に感謝でした。子ども達は、それぞれの競技の中で思いきり身体を動かしたり、友だちと力を合わせたりしながら取り組んでいました。またほかにも遠足や芋ほりなどの行事を経験して楽しさを満喫した10月だったと思います。この活動を糧に11月も頑張っしてほしいと思います。

「暇さえあればYouTubeばかり」

小学生のお母さんが嘆いていました。「本を渡しても読もうとしません。宿題より読書よりYouTubeばかり見えています」と。好きなものをずっと見るほうが楽しいし、何も考えず楽ちんなわけですから。でも、YouTubeを見るのが好きな多くの方は、仕事をしたり家事をこなしたりして、やるべきことをやったあとで、YouTubeを見るための時間をつくっています。このお母さんの悩み



の一番の問題は「暇さえあればYouTubeを見ている」ことではなく「やるべきことができていない」また「何を先にすべきかの優先順位がつけられていない」という子どもへのいら立ちだと思います。そのことを解消するための保護者が子どもに対しての手段の一つとして「宿題や読書をする」ことで得られる将来へのメリットを理解させることが必要でそのためにも時間を区切るなどの環境作りも必要になってきます。そして今回のお悩みに対してのよい言葉かけは「宿題(読書)をするとYouTubeが見られるよ」といった回答もありだと思います。逆に、言うてはいけない言葉かけは「宿題しないとYouTubeは見られないからね」だと思います。子どもに必要な声かけは「宿題したらYouTubeが見られる」といった、「見通し」がありポジティブな未来を連想させる言葉かけです。逆に「宿題しないとYouTubeは見られないからね」という否定的な言葉では、やる気が失われてしまう可能性があります。子どもに何かを促す時に言葉をかける時のポイントは、まずは「頑張ろうとしているならほめること」そして「やるべきことやメリットを具体的に伝えること」その後しっかり取り組みだしたら「その行動をほめること」です。お母さんがお父さんに「スマホばかりいじっていないで風呂掃除してよ」より、「いつも助けてくれてありがとう。今手が離せないから風呂掃除してくれない。終わったらあとは好きにしていいよ」と言われるほうが、よっぽどやる気になりませんか?そしてやり終えたら「ありがとう」と言われれば悪い気はしないと思います。実際には「言葉かけ」だけではうまくいかないことも多くあります。でもあきらめずいろいろなアプローチも絡めていくことも必要です。いろいろ試してもすべてはうまくいきません。しかしうまくいなくてもどこかでおたがいの折り合いをつけ、落としどころを探ることが子どもと接していく中で一番大切なことだと考えますし、子どももいずれ保護者の気持ちに気づき成長していくと思います。